

高知憲法速報

197 2009.5.15

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

5・3 もう一つの憲法集会

憲法記念日の5月3日、憲法会議が主催した「輝け日本国憲法! 県民のつどい」のあと、高知市春野のピアステージで憲法討論会が開かれました。

主催は日本青年会議所高知ブロック協議会で、入口では総務省が作った「憲法改正国民投票法」が来年から施行されることを知らせるパンフレットと、日本青年会議所が作った「5分でわかる私達の未来 憲法はじめの一步」というパンフレットが配布されました。

県内5政党の代表が出席して「地方自治」「道州制」「九条」「集団的自衛権」「国民投票法」などのテーマで議論、会場参加者からの発言もありました。公明党・黒岩正好県議、共産党・春名なおあき元衆議院議員、民主党・平野貞夫元参議院議員、自民党・中西哲県議、社民党・竹村美也子県連副代表が参加しました。共産党からは衆院予定候補の春名さんが出席していましたが、自民党も民主党も国会議員や衆院選予定候補が参加していません。自民党県議の中西さんは自民党の正式見解と異なるといいながら、「自衛隊は戦力であり、早く憲法を改正して正式に軍と認めるべきだ」と発言して参加者を唖然とさせました。

青年会議所主催のこの集会は「憲法タウンミーティング」として全国一斉に開かれました。改憲派も「九条の会」のような草の根の運動が必要だとして「憲法改正」の機運を盛り上げるために開く集会として位置付けられているようです。高知での集会は5党がそろって出席したことや、衆議院憲法調査会の委員を務めていた春名さんの群を抜いたすばらしい発言、会場参加者からの鋭い質問もあって、憲法を変える動きにはつながらなかったように思えました。もっとも、拍手を禁じられていたため、発言への賛否は不明です。参加者は約200名程度でした。

衆議院「海賊対処派兵新法」の議論から

「海賊対処新法」は衆議院本会議で可決されましたが、憲法しんぶん速報版から特別委員会議論の一部を報告します。なお4月21日の水島教授ら4人の参考

人質疑の内容は衆議院議事録で読むことができます。

北朝鮮の不審船には

(小池百合子質問)「ミサイル発射など北朝鮮の情勢も厳しい。中国海軍の動きが活発だ。何が起るかわからない。近場で起こった時も対処法を活用するのか」(金子国務大臣答弁)「海賊対処法は距離の概念は無い。海保が第一義的に安全を守る。近場でも武器等の状況によって自衛隊に出いていただく。事案に応じて判断。」

自衛隊派兵ありきの中谷質問

(中谷元質問)「軍を出す、最高のレベルにあるものを出すということは非常に大きなこと。軍隊を出すということに非常に意味がある。」

海賊逮捕後の移送は

(金子国務大臣答弁)「凶悪な場合はジブチ経由で日本に護送。軽微であれば、被害船舶の旗国、被害者国籍国等に引き渡す。ソマリア周辺国に引き渡す。」

海賊対処に新たな財源措置

(小池百合子質問)「既定経費に加え、補正予算に経費計上。その額はざっくり100億だ。」

4月21日特別委員会での水島教授の反対意見骨子

ソマリアの事例は特殊であり、これをもとに恒久法を制定するのは適切でない 海賊逮捕後の起訴、裁判などの手続きが不明 司法警察制度に自衛隊が過度に介入することになり、問題 法案は海賊対処にとどまらず、海外派兵恒久法にスライドさせるものだ 発動する際に国会承認の手続きをとることは不可欠、とし、法案に反対し、自衛艦をかえせと主張しました。

憲法会議街頭宣伝署名行動 次は5月19日

4月の憲法会議街頭宣伝署名は19日(日)に行いました。中央公園北口を自民党、民主党の合同街頭演説会に占められていたので、帯屋町大丸北口で行いました。春名代表委員も参加してマイクで訴え、5人で46筆を集めました。こうち九条の会は4月18日5人で50筆、5月2日9人で134筆でした。連休中の5月2日は街を通る人も多く、ブックレット「しあわせの扉」が2部売れました。「九条の会のアピール」約200枚を配りました。

憲法会議次回は5月19日(火)午後5時30分からグリーンロードで行います。新しく作った横断幕を使います。

九条の会署名宣伝行動 明日5月16日(土)1:30~

6月6日(土)1:30~ いずれもグリーンロード